

カリキュラムマップ
(建築学専攻 修士課程)

◎ : DPと最も関連がある科目 (一つのみ)
● : DPと関連がある科目

NO	科目区分	科目 ナン バー	授業科目の名称	配当年次	単位数			知識・理解	思考・判断	関心・意欲	態度	技能・表現
					必修	選択	自由	DP1	DP2	DP3	DP4	DP5
								建築物を取り巻く社会的背景や空間特性、機能性を読み解く力を有し、「設計・計画」「構造」「環境・設備」「材料・構法・生産」の実務に係る幅広い知見と理解力を有している。	技術者倫理を理解し、種々の条件・制約を踏まえて、建築物の立案、設計、プレゼンテーションをすることができる。または、建築構造、建築材料、建築設備あるいは建設工学分野における問題を把握し、考究する能力を有している。	専門知識に基づく調査、実験、実測、解析など熱意をもって進め、協働者とコミュニケーションを図りながら、自らの設計および研究を深めてゆくことができる。	建築が社会に及ぼす影響、および設計者、技術者が社会的に負っている責任を理解した上で、自らの設計および研究の社会的意義と重要性を認識し、設計および研究における問題に対する解決策を検討することができる。	計画から工事監理までのプロセスを理解し、専門家として実践するための能力を有している。また、専門知識に基づく調査、実験、実測、解析を行い、結果の整理と解釈から正しい説明を他者に対して行うことができる。
	研究科目 専門・応用											
1		5101	建築意匠特論	1・2前		2		◎	●		●	●
2		5102	建築史特論	1・2前		2		◎	●	●		
3		5103	建築計画特論	1・2後		2		●	◎	●		●
4		5104	建築設計特論	1・2前		2		●	◎		●	●
5		5105	住宅デザイン特論	1・2後		2		◎	●		●	
6		5106	建築・都市政策特論	1・2前		2		◎	●		●	
7		5107	都市計画特論	1・2前		2		◎		●	●	
8		5108	防災工学特論	1・2後		2		●		●		◎
9		5109	建築構造特論	1・2前		2		◎	●		●	●
10		5110	構造デザイン特論	1・2前		2		◎	●		●	●
11		5111	地震工学特論	1・2後		2		●		◎	●	
12		5112	解析学特論	1・2後		2				●	●	◎
13		5113	建築環境特論	1・2前		2		◎	●	●		
14		5114	建築設備特論	1・2前		2		◎	●	●		
15		5115	住環境特論	1・2前		2		◎	●	●		●
16		5116	地盤工学特論	1・2前		2		◎	●		●	
17		5117	建築生産特論	1・2前		2		●			●	◎

カリキュラムマップ
(建築学専攻 修士課程)

◎ : DPと最も関連がある科目 (一つのみ)
● : DPと関連がある科目

NO	科目区分	科目 ナン バー	授業科目の名称	配当年次	単位数			知識・理解	思考・判断	関心・意欲	態度	技能・表現
								DP1	DP2	DP3	DP4	DP5
					必修	選択	自由	建築物を取り巻く社会的背景や空間特性、機能性を読み解く力を有し、「設計・計画」「構造」「環境・設備」「材料・構法・生産」の実務に係る幅広い知見と理解力を有している。	技術者倫理を理解し、種々の条件・制約を踏まえて、建築物の立案、設計、プレゼンテーションをすることができる。または、建築構造、建築材料、建築設備あるいは建設工学分野における問題を把握し、考究する能力を有している。	専門知識に基づく調査、実験、実測、解析など熱意をもって進め、協働者とコミュニケーションを図りながら、自らの設計および研究を深めてゆくことができる。	建築が社会に及ぼす影響、および設計者、技術者が社会的に負っている責任を理解した上で、自らの設計および研究の社会的意義と重要性を認識し、設計および研究における問題に対する解決策を検討することができる。	計画から工事監理までのプロセスを理解し、専門家として実践するための能力を有している。また、専門知識に基づく調査、実験、実測、解析を行い、結果の整理と解釈から正しい説明を他者に対して行うことができる。
	演習・実験											
18		6101	建築意匠演習	1・2前		2			◎	●	●	
19		6102	建築史演習	1・2前		2		●	◎	●		
20		6103	建築計画演習	1・2後		2		●	●	◎		●
		6104	建築設計演習	1・2後		2		●	◎		●	●
		6105	住宅デザイン演習	1・2後		2		●	◎		●	
23		6106	建築・都市政策演習	1・2前		2		◎	●		●	
24		6107	都市計画演習	1・2後		2			●	●	◎	
25		6108	防災工学演習	1・2後		2		●		●		◎
26		6109	建築構造演習・実験	1・2前		2		●	◎	●		●
27		6110	構造デザイン演習	1・2前		2		●	●	●	●	◎
28		6111	地震工学演習・実験	1・2後		2		●		◎		●
29		6112	解析学演習	1・2後		2				●	●	◎
30		6113	建築環境演習	1・2前		2		●	●	●		◎
31		6114	建築設備演習	1・2前		2		●	●	●		◎
32		6115	住環境演習	1・2前		2			◎	●		●
33		6116	地盤工学演習・実験	1・2前		2			●		●	◎
34		6117	建築生産演習・実験	1・2前		2		●			●	◎
	論文指導科目											
35		5001	建築学研究 1	1前	2			●	●	●	◎	
36		5002	建築学研究 2	1後	2			●	●	●	◎	
37		6001	建築学研究 3	2前	4			●	●	◎	●	●
38		6003	建築学研究 4	2後	4			●	●	◎	●	●
			計		12	68	0					

カリキュラムツリー
建築学研究科建築学専攻 修士課程

学年	期	知識・理解	思考・判断	関心・意欲	態度	技能・表現
		DP1 建築物を取り巻く社会的背景や空間特性、機能性を読み解く力を有し、「設計・計画」「構造」「環境・設備」「材料・構法・生産」の実務に係る幅広い知見と理解力を有している。	DP2 技術者倫理を理解し、種々の条件・制約を踏まえて、建築物の立案、設計、プレゼンテーションを行うことができる。または、建築構造、建築材料、建築設備あるいは建設工学分野における問題を把握し、考究する能力を有している。	DP3 専門知識に基づく調査、実験、実測、解析など熱意をもって進め、協働者とコミュニケーションを図りながら、自らの設計および研究を深めてゆくことができる。	DP4 建築が社会に及ぼす影響、および設計者、技術者が社会的に負っている責任を理解した上で、自らの設計および研究の社会的意義と重要性を認識し、設計および研究における問題に対する解決策を検討することができる。	DP5 計画から工事監理までのプロセスを理解し、専門家として実践するための能力を有している。また、専門知識に基づく調査、実験、実測、解析を行い、結果の整理と解釈から正しい説明を他者に対して行うことができる。
2・1	後	住宅デザイン特論	建築計画特論 建築設計演習 住宅デザイン演習	地震工学特論 建築計画演習 地震工学演習・実験 【2・後期】建築学研究4	都市計画演習 【1・後期】建築学研究2	防災工学特論 解析学特論 防災工学演習 解析学演習
	前	建築意匠特論 建築史特論 建築・都市政策特論 都市計画特論 建築構造特論 構造デザイン特論 建築環境特論 建築設備特論 住環境特論 地盤工学特論 建築・都市政策演習	建築設計特論 建築意匠演習 建築史演習 建築構造演習・実験 住環境演習	【2・前期】建築学研究2	【1・前期】建築学研究1 *「建築学研究1・2・3・4」については、学年、学期が指定されている。 *その他の科目については、学期のみ指定されてい	建築生産特論 構造デザイン演習 建築環境演習 建築設備演習 地盤工学演習・実験 建築生産演習・実験